

参加者
募集

広島県補助事業

～平成28年度～

大学連携による
新たな教育プログラム
開発・実施事業

グローバル化時代の ものづくり技術者像

世界のフィールドで勝負するグローバル人材へ

産業経済社会は今ものづくりにおいて、
さらにグローバルに通用する製品と技術の発信、
そして海外企業との連携が求められています。
このような中、高いものづくり技術をもつ企業の多い広島で、
新たな海外事業に取り組むことができる人材の育成は急務です。
本講義では、多様化するグローバル産業経済社会に適応するため、
海外実務経験者との討論を交えながら、
グローバル人材としての素養を修得するとともに、
海外事業展開を活発に行っている広島の
「ものづくり」を中心とした現場で活躍できる力を修得します。

実施日時：平成28年 **9月24日(土)**
10月1日(土)・22日(土)
11月26日(土)
12月3日(土)・10日(土)
平成29年 **1月7日(土)・21日(土)**
13:00～16:10
※1月21日のみ13:00～14:30

実施場所：サテライトキャンパスひろしま(広島市中区大手町1丁目5-3)

募集対象：大学3年次生以上、大学院生及び現役社会人

募集人数：**40人程度**

応募方法：

大学 3年次生 以上	教育ネットワーク中国の出願票(単位互換履修用)にて、 所属大学を通じてお申込みください。科目名は、 「学外研修(グローバル化時代のものづくり技術者像)」です。
------------------	---

大学院生・ 現役社会人	本プログラムのホームページ掲載の出願票に 必要事項を記入のうえ、E-mailにてお申込みください。 (URL) http://www.it-hiroshima.ac.jp/lecture/global/
----------------	---

受講料：**無料**

募集期限：大学3年次生以上：~~7月29日(金)~~ → **9月21日(水)** ※延長しました！
大学院生・現役社会人：9月9日(金)

受講要件：原則として、全ての講義(15回)に出席できる方

修了証：所定の課程を修了し、一定の評価を得た者には、
修了証を交付します。(教育ネットワーク中国の単位互換履修生は除く。)

学校法人
鶴学園 **広島工業大学**

Hiroshima Institute of Technology

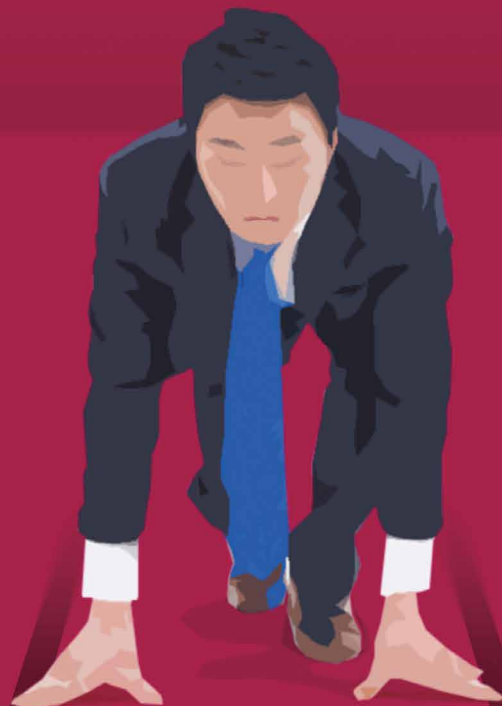
(問い合わせ・申し込み先)

広島工業大学 学務部(教務担当)

〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1

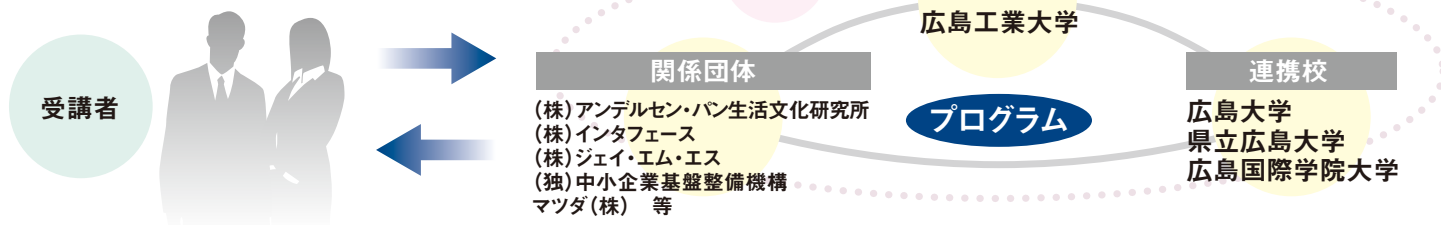
TEL.082-921-4178 FAX.082-921-8954

E-mail:kyoumu@it-hiroshima.ac.jp



実施体制

広島県の大学、企業等が一体となって充実したプログラムを実施します。



「グローバル化時代のものづくり技術者像」

区分	内容	講師	日時
ガイダンス	第1回 ガイダンス 本講義の目的および目標を確認する。また、グローバル化時代を概観するとともに海外事業に関わる社会人として求められる技術者像の概要を理解する。	濱崎 利彦 (広島工業大学)	平成28年9月24日(土) 13:00~14:30
異文化コミュニケーション	第2回 異文化コミュニケーション全般 日本の技術者が、異文化の社会でコミュニケーションを図る上で知っておくべきことを全般的に学ぶ。	上水流 久彦 (県立広島大学)	平成28年9月24日(土) 14:40~16:10
	第3回 英語圏における異文化コミュニケーション 日本の技術者が、異文化、特に、英語圏文化を持つ技術者とコミュニケーションを図る上で知っておくべき文化や習慣、また、特別な言語表現などの素養を学ぶ。	三熊 祥文 (広島工業大学)	平成28年10月1日(土) 13:00~14:30
	第4回 グローバル化する日本社会と異文化理解 グローバル化が進展する日本社会の実態をふまえたうえで、異なる文化や価値観をもつ人びととともに働き暮らすための考え方や知識について学ぶ。	崔 博憲 (広島国際学院大学)	平成28年10月1日(土) 14:40~16:10
	第5回 先端テクノロジー教育と学びの姿勢 新興国において、ものづくりを牽引する若手技術者(理工系学生)の学習意欲は極めて高い。技術者教育は産業発展の根幹であり、グローバルな視点で学びの姿勢の違いを学ぶ。	藤島 実 (広島大学)	平成28年10月22日(土) 13:00~14:30
海外ものづくり事情	第6回 海外ものづくり事情(自動車分野) 自動車分野における海外での事業展開を念頭におき、ものづくりをベースにしながら、海外での勤務や現地の技術者との協同作業に必要な知識を学ぶ。	西川 智士 (マツダ株式会社)	平成28年10月22日(土) 14:40~16:10
	第7回 海外ものづくり事情(電気電子工学分野) 電気電子分野における海外での事業展開を念頭におき、ものづくりをベースにしながら、海外での勤務や現地の技術者との協同作業に必要な知識を学ぶ。	小西 善彦 (広島工業大学)	平成28年11月26日(土) 13:00~14:30
	第8回 海外ものづくり事情(デジタル情報家電機器商品企画・戦略分野) デジタル情報家電機器事業の海外展開を念頭におき、グローバルと地域の両視点から商品企画をすすめる上で、海外商社との連携やカスタマとの関係構築に必要な知識を学ぶ。	杉木 雄三 (ｸﾞﾙｰﾌﾟMｱｲ経営コンサルティング)	平成28年11月26日(土) 14:40~16:10
	第9回 海外ものづくり事情(食品分野) 食品分野における海外での事業展開を念頭におき、ものづくりをベースにしながら、海外での勤務や現地の技術者との協同作業に必要な知識を学ぶ。	磯部 進也 (株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所)	平成28年12月3日(土) 13:00~14:30
	第10回 海外ものづくり事情(建設分野) 建設分野における海外での事業展開を念頭におき、ものづくりをベースにしながら、海外での勤務や現地の技術者との協同作業に必要な知識を学ぶ。	杉田 宗 (広島工業大学)	平成28年12月3日(土) 14:40~16:10
	第11回 ものづくりにおける海外事業展開 海外での事業展開を念頭におき、ものづくり技術者が海外事業展開で注意する点、また、知っておくべき知識などの全般について学ぶ。	深田 進 (中小企業基盤整備機構)	平成28年12月10日(土) 13:00~14:30
	第12回 海外ものづくり事情(コンピュータシステム分野) コンピュータシステム分野における海外での事業展開を念頭におき、ものづくりをベースにしながら、海外での勤務や現地の技術者との協同作業に必要な知識を学ぶ。	鈴木 誠 (株式会社インタフェース)	平成28年12月10日(土) 14:40~16:10
海外文化事情	第13回 海外文化事情(日本企業勤務の現地管理社員の視点) 海外現地社員にとって日本企業はいわゆる「外資企業」である。そこには彼ら独自の視点があり、日本人が描くイメージとは明らかな違いがある。この意識の違いを討論し、それぞれの文化をさらに深く理解する。	趙 鵬海、他 (大連JMS医療器具有限公司)	平成29年1月7日(土) 13:00~14:30
	第14回 海外文化事情(留学生の視点) 文化の違いなどを、留学生を交えて討論や体験的な演習を行いながら理解する。たとえば、留学生から見た自国と日本の違いなどのテーマをもとに、それぞれの文化を理解するとともに、日本の文化についても再認識する。	長坂 康史 (広島工業大学)	平成29年1月7日(土) 14:40~16:10
まとめ	第15回 まとめ グローバル化時代のものづくり技術者像をまとめる。	長坂 康史 (広島工業大学)	平成29年1月21日(土) 13:00~14:30
講義終了後の海外現地研修(希望者のみ)	海外で事業展開をしている地元広島の企業を訪問し、意見交換および作業体験などを行う。 (※海外現地研修に係る渡航費等については、半額程度の自己負担が生じます。)	中国	平成29年2月下旬~ 3月上旬 (1週間程度)